

## 令和4年度第1回北杜市魅力発信検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和4年7月20日(水)午前10時 30 分～午前11時50分
- 2 開催場所 北杜市役所西館2階会議室
- 3 出席委員 桜井彰一、坂本肇、古屋昭彦、三井麻里子、小林昭治、  
加藤さくじ、伊部袈裟晴、浅川幸彦
- 4 欠席委員 内田英一、横森千恵子
- 5 事務局 秘書広報課 小澤哲彦、  
広聴広報担当 廣嶋満、齊藤ゆか、浅川実李

6 会議録署名 坂本肇、古屋昭彦

7 公開・非公開の別 公開

8 傍聴人 なし

9 内容

(1)開会

(2)委嘱状交付

(3)副会長の選任

副会長に浅川幸彦委員が選任された。

(4)会長あいさつ

(5)議事

議事

議事1 情報発信に係る取り組みについて「広報ほくと」

【委員】広報紙でも介護の特集をしているが、普段デイサービスなどで職員が活躍している様子を目にするので、そういったところをもっとアピールしてほしい。市民がより身近に感じられるのではないか。

【事務局】昨年度の広報紙リニューアル後から毎月「特集」を組んでおり、1つのテーマに絞って深く知ってもらえるように制作している。市内で頑張っている、活躍している、貴重な取り組みをしている方や、デイサービス等の福祉関係についても、今後特集していきたい。

【委員】アンケート調査については、回答した「世代」が重要になると思うが、把握しているか。

【事務局】把握している。世代別で集計することも可能。回答者は50代から70代が一番多く、広報紙を読んでいる層もこの世代が多い感覚がある。また、30代から40代の子育て世代の女性からも回答をいただくことが多い。次回の魅力発信検討委員会では、アンケートの結果も公表したい。

【委員】属性調査は非常に重要である。可能であれば、年齢や地域等の属性を調査し、示してもらえるとありがたい。

- 【委員】広報紙では子育ての情報を多く掲載しているが、具体的にどういった情報が求められているのか、ニーズを聞いたうえで作成した方が良い。  
また、職員採用のページなど市職員の顔が見えるデザインは非常に良い。職員が普段具体的にどういった仕事をしているのか、市民に浸透していないため、市民に身近に感じてもらえるよう、各課で頑張っている職員を特集するページがあっても面白いのでは。
- 【委員】本日出た意見を、特集ページの中で上手く取り入れてもらえればと思う。

## 議事 2 情報発信に係る取り組みについて「北杜市ホームページ」

- 【委員】公式 note と市ホームページにはどのような関係性があるのか。  
公式 note の認知度は低いと思うので、ホームページにバナー等を設置し周知することは可能か。
- 【事務局】他の公式 SNS も含め、各課と共有しながら情報発信のあり方を検討する。現在、公式 note は市ホームページの移住定住のページにリンクを貼っているが、今後さらに分かりやすく目に付きやすい箇所への表示も考える。
- 【委員】ほくと魅力発信部の取り組みは素晴らしいと思う。これからの活動も楽しみにしている。今年度は子育て世代を10名募集するが、どのように活動し、情報発信していくのか。
- 【事務局】部員には、主にツイッターを活用し「#いいじゃん北杜市」をつけて市の魅力を投稿してもらっている。
- 【委員】公式 LINE についても話を聞きたい。
- 【事務局】公式 LINE では、昨年11月から毎日昼12時に情報を発信している。トーク画面にはメニューを表示し、項目を分けて市の情報にアクセスしやすくしている。
- 【委員】公式 LINE は市民への情報発信ツールとして特に役立っていると思う。  
検討委員会でも資料に掲載し、取り上げて欲しい。  
また、ほくと魅力発信部の部員募集はノースツリーでも行っているのか。
- 【委員】ノースツリーからもメンバーが部員として参加したことがある。  
子育て支援施設で部員募集チラシを配布したり、ノースツリーの SNS でも周知している。  
また、昨年度は新型コロナウイルスの影響でワークショップができなかった。今年度も子ども世代で感染が拡大しているため、予定通り活動ができるか心配。意欲的に活動している部員の意思を無駄にしないためにも、オンラインでの開催も検討してほしい。

【委員】部員の定員が10人なのはなぜか。

また、部員に対して報酬などが無いのであれば、Tシャツや帽子など、何か部員と分かるようなものを配布してはどうか。

【事務局】設立時の要項で定員10人と定められている。

活動の中で部員が不適切な投稿をしてしまう恐れもあるため、講座で基礎知識を学んでから活動してもらっている。事務局が協力をしながら、部員の投稿に目を向けられる人数として10人は適切だと思う。

【委員】過去2年で、それぞれ何人の応募があったか。

【事務局】令和2年度が7人、令和3年度が5人。

初年の令和2年度は、年齢・条件関係なく部員を募集したが、年齢層が幅広くチームワークが取りにくい部分があり、次年度は、市が子育て支援に力を入れていることを踏まえ、子育て世代に絞って募集した。チームワークを重視したい考えがあったため、オンライン開催は実施しなかったが、今年度は感染の状況を見つつ検討していきたい。

また、部員には全4回の講習に対し報酬を支払うが、普段の活動への報酬はない。現在各部員に名刺を配布しているが、何か目で見て活動が分かるようなグッズの作成も検討したい。

【委員】グッズは部員のやりがいにも繋がると思うため、ぜひ検討してほしい。

【委員】SNSは一度情報が出ると取り消せない怖さがある。市の取り組みとして、投稿の内容に気を配りながら情報発信してもらいたい。

### 議事3 情報発信に係る取り組みについて「週刊ほくとニュース」

【委員】今年度から番組が15分番組に短縮されたが、時間帯はいつ放送しているか。

【事務局】19:30、22:30からの2回放送している。

【委員】週刊ほくとニュースは毎週楽しみに見ていたのですが、15分になって少し物足りない気もしたが、これからも番組を楽しみにしたい。

【委員】コロナ渦でも適切に活動を行えるよう、マスクの着用、距離の取り方、行事開催の条件など番組内で詳しく説明して欲しい。

【事務局】番組内にお知らせのコーナーを設けているため、今後状況に応じて取り上げていきたい。

【委員】SDGsの特集について、SDGsは全17の目標の下に169の達成基準がある。達成基準まで視野に入れている活動でないと意味がないため、しっかり目的を明らかにしている取り組みを取り上げて欲しい。

以上